

議会 だより



令和7年1月24日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.240

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
古紙配合率80%紙

橋北イルミネーションフェスタ(橋北) ～人と人をつないだ輝き～



第2回臨時会・第4回定例会 2P
委員会 3～7P
ズバリ市政を問う(代表・一般質問) ... 8～11P
議員紹介 ほか 12P



令和6年

第2回 臨時会

11月8日
開催



第2回臨時会は、去る11月8日に一日間の日程で開催されました。

臨時会では報告案件7件の報告を受け、条例案件1件を審議し、原案通り可決しました。また、10月の補欠選挙で当選した長谷部春生議員が総務委員会委員に選任されました。

令和6年

第4回 定例会

11月29日
～
12月25日
開催

定例会のあらまし

第4回定例会開会日に、執行機関側から「副市長の選任について」など人事案件2件、「飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件8件、「基本構想の変更について」など一般案件26件、「令和6年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案」ほか予算案件5件の議案の上程がありました。

人事案件2件については、開会日に同意しました。

中日（12月6日）には、「工事請負契約の一部変更について（学校施設環境改善交付金事業上郷小学校長寿命化改良建築工事）」の

一般案件1件の上程があり、開会日上程の人事案件以外の議案とともに所管の委員会に付託され、議案審査を行いました。これらの議案は最終日の本会議において、いずれも原案どおり可決されました。

また、最終日には人事院勧告に係る「飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」の条例案件1件とエネルギー・食糧費価格等の物価高騰対策支援のための補正予算と人事院勧告による人件費補正予算として「令和6年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案」ほか関係する特別会計の予算案件8件の議案の上程がありました。

これらの議案は説明を受けたのち、本会議を休憩し、総務委員会及び予算決算委員会を開催し、議案審査を行い、その後の本会議において、いずれも原案どおり可決しました。

議案に対する質疑と審査

人事案件以外の議案は、所管の委員会に付託され、集中的に審査しました。

委員会での質疑等の内容は、次ページからの常任委員会のページで、その一部を紹介します。

議会発議による議案について

【発委第9号】飯田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

全国市議会議長会において「陳情書の取扱いに係る規定の見直し」が行われたことに伴い、当市議会においても陳情書の取扱いの基準について、現行規定を見直したものです。

なおこの陳情書の取扱いに係る規定の見直しに伴い、陳情書又はこれに類する物の取扱いを明確にするため、新たに「飯田市議会陳情書の処理に関する規程」を制定いたしました。

【発委第10号】再審法改正の早期実現を求める意見書の提出について

この議案は、総務委員会が審査を行った令和6年請願第5号「国に対し、再審法改正の早期実現を求める意見書を提出願いたい」が採択となったことから、総務委員会の発議により、国会及び関係行政庁に対する意見書の提出について委員会議案が提出され、可決しました。

可決した意見書

請願第5号に関連

再審法改正の早期実現を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、

内閣総理大臣、法務大臣

定例会の審議結果や本会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会（中継）」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>

第4回定例会



開会日QRコード



閉会日QRコード

総務委員会

11月29日
12月12・19・25日
に委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に総務委員会へ付託となった議案は、条例案件3件、一般案件2件の計5件でした。慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決しました。
議案審査の中での主な質疑の内容を紹介します。

議案第114号 飯田市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】消防庁からの助言により消防団員に支給する年額報酬及び出勤報酬を個人に直接支給するため、条例の一部を改正しようとするもの。

Q 年額報酬の支給について、在籍しているだけで一度も活動をしていない団員と真面目に活動している団員とに不公平感があるのではないか。

A 一度も活動をしていない団員には、年度末に活動の確認を再度行い、全く活動に参加していない場合は支給しない。長期出張など、やむを得ない事情によって1年以上不在となり、消防団活動ができないという団員には休団届を提出していただく。

Q 支給の手続きはどのように行くか。

A 支給にあたっては活動実績を把握することが必要となるが、アプリを活用して報告をしてもらう。四半期ごとに分団に確認いただく中で活動実績を積み上げ、出勤報酬、年額報酬に反映させていく。支給については、各個人から口座を申請してもらい、その口座に振り込む。



《予算決算委員会 総務分科会》

予算案件のうち、総務分科会に分担となった案件は2件です。いずれの議案も原案のとおり可決しました。

議案第143号 令和6年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案

Q 飯田市消費生活センターの体制強化に伴う施設改修により、市役所の3階に設置されることになるが、分かりやすい場所ではない。将来的に1階など分かりやすい場所に移していくという検討の余地はあるか。

A まずは1階を検討した。部署の配置換えも想定しながら考えたが、適当な場所が見つからず、現状ではA棟3階の会議室を改修して設置することが最適と判断した。今後の状況によっては検討の余地はありと考える。

議案第144号 令和6年度飯田市墓地事業特別会計補正予算（第1号）案

Q 令和7年度の当初予算ではなく、令和6年度の補正予算とした理由は。

A 西部霊園への新たな合葬式墳墓の建設は、年度当初の段階では、令和7年度にできればよいと考えていたが、使用状況を見ながら、令和7年度のできるだけ早い時期に供用開始ができるようにした方が良いと判断し、今定例会で上程した。

請願1件を採択しました

〔令和6年 請願第5号〕

国に対し、再審法改正の早期実現を求める意見書を提出願いたい

（請願者）

飯田市内 長野県弁護士会 飯田在住会
代表 宮下 将吾 氏

【主な意見】

●再審請求手続きは、えん罪という人権侵害から救済する最後の拠り所であり、再審手続きの在り方に対して、今年3月に与野党の超党派による議員連盟が発足している。また、袴田事件は再審確定までに42年間もの長期を要し、無罪判決が社会に与えた影響を鑑みると、刑事訴訟法に規定が定められているものの、審理の進め方などが具体的に定まっていらない現行法は実情に適していると言え難く、法改正は必要。

社会文教委員会

11月29日、
12月16日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に社会文教委員会へ付託となった議案8件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

議案第136号 公の施設の指定管理者の指定について(飯田市特別養護老人ホーム)

【内容】 社会福祉法人アムノスの会を特別養護老人ホーム第二飯田荘の指定管理者として、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの間、指定したいとするもの。

Q 補足説明資料の、応募者から提案された収支算の見積もりは、令和5年度の収支状況の半分程度となっているが、利用者が減少しているということか。

A アムノスの会では、現在の第二飯田荘の利用者が30人前後という状況と、自身が指定管理者を受けた当初は、少し利用率が下がると想定し、施設の稼働率を80%程度として収支予算の見積もりをしたと聞いている。

Q 第二飯田荘は人材不足で指定管理者を変更することになったが、この運営経費で人材確保ができるのか疑問だがどう考えているか。

A 人材確保は、指定管理者選定時の大きなポイントであった。アムノスの会は閉鎖した施設があり若干の人的余裕が生まれている。またここ数年外国人採用に積極的に取り組んでいることから、人材確保の見通しがしっかりしているという判断をした。

議案第141号 公の施設の指定管理者の指定について(飯田市旧飯田測候所)

【内容】 リテラスプロジェクトを飯田市旧測候所の指定管理者として、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの間、指定したいとするもの。

Q 説明資料の団体の設立目的に、「飯田市が目指す低炭素なまちづくり及び協働によるまちづくりの推進を図る」とあるが、この団体のゼロカーボンの推進への活動はどのようなものか。

A これまで、未利用の麻袋でマットを作ったり、リサイクル品を使ったクラフトワークショップを開催したり、本来捨ててしまいうようなものを別の形で再生していく取り組みを実践している。また、本来の機能を失っているこの測候所に新しい命を吹き込んで別の機能として活用していくことも、文化財の活用の一つとして、持続可能なまちづくりにつながると考えている。

**《予算決算委員会 社会文教分科会》
議案第143号 令和6年度飯田市一般会計
補正予算(第5号)案**

「上村ディサービスセンター運営事業」

Q 2年前も上村ディサービスセンターの指定管理料を増額する補正予算案が提出された。その時に今後の施設運営の方向性が示され、ケアマネージャーとの連携強化、地域密着型への移行の検討等が説明された。また

この間、介護報酬改定等もあり取得可能な加算もあったと思うが、これらについて指定管理者はどのように対応をしてきたか。

A 地域密着型通所介護施設へ切り替える報酬単価が上がり、現在の利用状況から試算すると収益の増加が見込まれるため提案してきたが、現在の利用者数をうまく調整できれば切り替え可能という回答を得ている。ケアマネージャーとの連携については、サービスマネージャーとの利用につながるように毎年確認の意味も込め指示している。また、可能な加算はすべて取得していると聞いている。

所管事務調査に関わる政策提言について

当委員会は所管事務調査のテーマを「我がまちで子育てを支えていくためには」として、子育て中のママ・パパ・子育てを支援している方、女子高校生のほか、議会報告・意見交換会で市民の皆さんとの意見交換を行いました。

いただいたご意見をもとに、委員間で協議を重ね、課題・論点を抽出し、さらに関係部局長との意見交換を行ってきました。

これらの委員会活動から、政策提言をまとめ、12月25日に市長へ提言書を手交しました。提言はホームページからご覧いただけます。



▲議長から市長へ手交

産業建設委員会

12月17日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に産業建設委員会へ付託となつた議案8件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

議案第111号 飯田市道の駅遠山郷条例の制定について

Q 温泉施設や物品販売施設など、施設内の各区分に定められた開業時間や休業日の設定の根拠は。

A 過去の利用実績などを参考に開業時間等を設定した。

Q 指定管理先の経営計画の精査はどのように行われるのか。

A 指定管理者の指定にあたっては、事前に事業計画及び経営計画を提出いただくことになっている。

議案第112号 飯田市工場立地法準則条例の制定について

Q 緑地面積の割合について、市町村準則では5%から20%と規定されているが、飯田市の基準を6%としている理由は何か。

A 飯田市都市計画法施行条例に則して、3,000㎡以上の開発行為における基準6%以上と規定した。

議案第137号 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市保健休養施設）

Q 補足説明資料中の外部評価において、記載の「おおむね良好」と評価した経過は。

A 管理する施設は、敷地面積を含め広範囲に及んでいる。異常の有無、支障木伐採など安全性の確保に関する必要な対応を実施している点を評価した。

Q 施設の有効活用について、「湖面を含む施設の特性を活かした野外体験事業やイベントの実施の提案」とは体験教育旅行を指しているか。

A 体験教育旅行の他、展望台周辺の眺望に支障のある樹木撤去などの地域内外の皆さんとの交流による環境整備に取り組むことや、障がい者支援団体の皆さんと連携した遊歩道整備の提案があった。

Q 指定管理者の飯田高原保健休養施設管理組合と実務担当者の間における管理上の具体的な作業など、認識の違いが大きいと考えられるが、施設の活用を進める上で、設置者の飯田市としての考え方は。

A 地元地区からは、地域を挙げた施設として沢城湖一帯の将来像、資源の活用、整備構想をビジョンとして取りまとめられた。その気持ちに込め、一緒に取り組んでいきたい。



沢城湖

《附帯意見について》

議員間の自由討議がされ、次の事項が附帯意見として決議されました。

1 飯田市保健休養施設の管理運営にあたっては、指定管理施設の設置者として、設置目的に沿って当該施設の目指す将来像を明確にし、その実現に向け取り組むこと。

2 取り組みを進めるにあたっては、設置地区のまちづくり委員会をはじめとする様々な関係者の諸事情を考慮に入れて調整するとともに、広く市民及び利用者の声が反映されるよう努められたい。

議案第138号 工事請負契約の一部変更について（橋りょう耐震整備事業橋梁（りょう）耐震整備工事）

Q 本契約については、本年第2回定例会において増額補正、今定例会では契約の一部変更とのことだが、当初契約時の工事契約額から幾度も変更になっている。工事見積額の算定の仕方は。

A 大規模事業においては、設計において精査しているが、想定外の事象が生じる。設計精度をより高められるよう事前の調査を念入りに実施するとともに、職員間のチェックにも努める。

《予算決算委員会 産業建設分科会》
議案第143号 令和6年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案

農地施設維持補修事業について

Q 水路清掃業務委託料の補正額が大きくなっているが、その事業の内容は。

A 一級河川松川からの複数の取水口における土砂撤去費用が主な事業内容となっている。

予算決算 委員会

予算決算委員会
及び分科会における
予算議案の審査の
様子は、YouTubeで
動画配信しています。



予算決算委員会前期全体会を12月9日に開催し、付託された議案のうち、「基本構想の変更」及び「基本構想に基づいて定める政策体系」の2件については、議会による行政評価において素案の段階から評価・意見集約し、執行機関側へ提言してきた経過から、分科会への分担を省略し、全体会において審査し原案のとおり可決しました。一般会計補正予算（第5号）案、及び特別会計補正予算案の5件の議案については、担当する総務、社会文教、産業建設の各分科会への分担を決定し、12月12日から17日にかけて各分科会を開催し、審査しました。

12月24日に開催した後期全体会では、各分科会の審査について座長報告を受けるとともに、議案審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

12月25日の閉会日の本会議に上程され当委員会に付託となった住民税非課税世帯支援給付事業、及び人事院勧告に伴う人件費の増額の一般会計補正予算（第6号）案、並びに人件費を増額する特別会計補正予算の議案8件については、同日に全体会を開催し、担当する分科会への分担を省略し、審査しました。いずれの議案も原案のとおり可決しました。

令和6年度前期 政務調査研究報告会

市議会の各会派では、政策の立案、提言に生かし、市民益につなげていくことを目的に政務調査を実施しています。令和6年4月から9月までに実施した各会派の調査研究の項目は以下のとおりです。また、令和6年9月27日には、令和6年度前期の政務調査研究報告会を市役所で行いました。

■ 新政いいだ

- 「女川町の東日本大震災からの復興」について（宮城県女川町）
- 「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）の立地に伴う活用」について（福島県浪江町）
- 「浪江町における移住定住施策」について（福島県浪江町）
- 「目黒区行政職員の地域コミュニティ研修」について（東京都目黒区）

■ 会派きぼう

- 「公共交通を軸としたコンパクトシティの推進及びスマートシティの推進の取り組み」について（富山県富山市）
- 「新高岡駅を活用した広域観光推進事業」、「新高岡駅整備後の市財政状況」について（富山県高岡市）
- 「ジェンダーギャップ解消の取り組み」について（富山県南砺市）

■ 会派みらい

- 「コミュニティツーリズムの取り組み」について（沖縄県東村 NPO 法人東村観光推進協議会）
- 「Lagoon KOZA の取り組み」について（沖縄県沖縄市）
- 「那覇市社会福祉協議会と、那覇市パーソナルサポートセンターの取り組み」について（沖縄県那覇市社会福祉協議会、那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンター）

■ 公明党

- 「市民主体のまちづくりと町内自治会の取り組み」について（千葉県千葉市）
- 「川崎市子どもの権利に関する条例」について（神奈川県川崎市）
- 「災害ケースマネジメント」、「仙台市とSDGs（持続可能な開発目標）・防災環境都市づくり」について（宮城県仙台市）
- 「廃校を活用した土着ベンチャー創出・まちづくりの取り組み」について（秋田県五城目町 一般財団法人 ドチャベンジャーズ）
- 「こども施策の推進と持続可能な行政サービスへの取り組み」について（秋田県大仙市）

詳細は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください



リニア推進 特別委員会

12月18日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」 について

10月31日に開催した「飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム」、11月25日に開催した「第1回 飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の開催概要などについての報告がありました。

今後の予定として、今年度は2月から3月に2回目のプラットフォームを開催。令和7年度は、全体会として3回から4回のプラットフォームを開催するとともに、事業内容に応じて分科会のような形で分野別の協議も行い、詳細な事業計画を検討する。

令和7年度末を目指し、賑わいづくりのための事業内容や運営方法、駅前広場内に整備する施設を検討し、運営事業体の方向性をまとめていくとの報告がありました。



▲ 11月25日のワークショップの様子

管外視察を実施しました（11月19日）

視察箇所

①山梨県甲府市

リニア中央新幹線駅周辺整備とリニア活用の取組について

②山梨県立リニア見学センター及び山梨リニア実験線



①甲府市役所



②山梨リニア実験線

Q リニア開業を待たず、先行して駅前広場の一部供用を開始した場合、大きな収入が見込めない中で維持するための経費がかかることになるが、経費についてはどこで検討していくことになるか。

A 駅前広場の管理運営は、民間事業者を中心とした管理運営事業体が行っていくことになるが、リニア開業までの維持管理を含め、経費についても、プラットフォームの意見を踏まえる中で管理運営事業体と市で検討を進めていくことになる。

議会運営委員会が管外視察を実施（10月29日から30日まで）

議会運営委員会は、議会改革度ランキング（早稲田大学マニフェスト研究所公表）において2020年と2021年に2年連続で全国総合第1位となった茨城県取手市議会を視察しました。

取手市議会はコロナ禍での議会におけるオンライン会議をいち早く取り入れていたことから、ICTを活用した「デモテックの取り組み」をはじめ、「中学生との協働事業」「議会運営の取り組み」の3項目を研修テーマに2日間にわたって学びました。

デモテックの取り組みでは、「議会という組織には住民が含まれており、住民の中に議会がある」との考えのもと、オンラインを積極的に活用し、住民も視聴できるYouTube動画による議案事前説明や、聴覚障害の方にも議会を知っていただけるようにリアルタイムの字幕表示など多岐にわたるICTの活用を学びました。

中学生との協働事業においては、中学生自身が「自分達の暮らしを良くするためには」を議案に見立てて考え、討論し、採決するというリアルを追求した模擬議会を、議員がサポートしながら協働して作り上げる様子を学びました。



▲研修の様子

*デモテック（DemoTech）とは、Democracy（民主主義）とTechnology（技術）を掛け合わせた造語。
取手市議会は、議会運営におけるICTを全国に先駆けて導入。

代表質問 8～10 ページ

委員会代表質問

各常任委員会の代表者が所管事務について質問します。

会派代表質問

各会派の代表者が市政全般について質問します。会派の意見を次年度の予算に反映させやすいよう、飯田市議会では第4回定例会に行っています。

一般質問 10～11 ページ

市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関側に、事業の執行状況、将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第4回定例会では、6人の議員が質問しました。

ズバリ！ 市政を問う

第4回定例会の代表質問と一般質問の概要を紹介します。

一般質問はこちらから



- ▶ 質問順に掲載
- ▶ 末尾の■は、他の質問項目
- ▶ 質問の様子は、Youtubeで動画配信しています



地域とこどもの繋がりと 「こどもまんなか社会」について



委員会代表質問 社会文教委員会

永井 一英 議員

Q 地域でも「こどもまんなか社会」の構築は重要。今後の地域共生社会構築の要になると考えるがどうか。

A 地域でこどもを育てる枠組みがあることは、こどもにとっても、地域のコミュニティ醸成にとっても非常に良いことだと考える。こどもが地域の大人と交流し、互いの顔が分かり、遊びやさまざまな体験を共にして地域を知ることが、こどもが地域に誇りや愛着を持つことにつながる。また、地域でこどもを育む環境を整えていく中で、改めて大人どうしのつながりも醸成され、こどもから元気をもらええる。

Q 財源も限られる中で、子育て支援など「こども政策」をどこまで進めようと考えているか。

A 国も「今が少子化傾向を反転させているが、当市においても今が踏ん張りどころと捉えている。財源やさまざまな制約はあるが、こどもを真ん中において社会を作っていきたいという考えは持っており、できる限りのことをしたい。

■こどもが安心して過ごせる居場所について ■飯田女子高等学校生徒との意見交換から気付かされたことについて ■ママ・パパの産休、育休取得について



地域内経済の循環について ～地域のお金を地域の中で回すためには～



委員会代表質問 産業建設委員会

福澤 克憲 議員

Q 今後の方向性を考えていく上で、地域内経済の循環に係る業種等の実態調査から取り組んではどうか。

A 既存のデータだけで実態を表すのは限界があり、何らかの調査は必要と認識している。業種、事業規模等のバランスを考慮して対象事業者を選定し、市内の調達率について毎年調査し、その結果をKPIの指標とすることを検討したい。

Q 地域資源を活用する新たな商品のブランド化にチャレンジできないような仕組みの検討が必要ではないか。

A 戦略的に進めていく必要があると考える。紹介のあった山口県岩国市のブランド推進の取組は、認知度が高くブランド力のある産品を軸に、多様な業種が参画して関連する商品の開発を進めている点で参考になる。関係する部署と情報の共有を図り、これまでの取組に加えて、戦略に取り入れていきたい。ブランド化は消費の拡大に寄与するものと認識しており、引き続き研究していく。

■企業立地の促進、人材不足への対策について ■所得の流入・流出から見た移住定住の考え方について ■地域通貨実証実験の状況について



「日本一住みたいまち」の実現に向けて ～市政運営の基本姿勢と具体的な取組について～



会派代表質問 新政いいだ

清水 優一郎 議員

Q 「今、飯田市に暮らす市民の満足度への貢献」が市政運営において最も重要と考えるが、市長の考えは。

A 市民が何を考え、何を課題に感じているかを市政の真ん中に置かねばならないことを大前提とし、一期目から「対話と現場主義」を政治信条としている。「近き者よるこび遠き者来たる」「人口の数を追うのではなく、そこに住む一人一人の人生が幸せなものであることが重要」という考えは常に持っており、今後も持ち続けたい。

Q 市民はムトスの力を十分に発揮し地域自治を進めてきた。社会環境の変化に伴う地域課題への行政の取組は。

A 各地区の特徴・特色を生かしたまちづくりを行うべく、自治振興センター所長会等において今後の取組を検討している。役員の負担軽減に関しては、まちづくり委員会の組織・事業の見直しに、自治振興センター職員も参加している。昨年度16項目の見直しを行ったが、更なる検討を進めている。

■消防団、赤十字奉仕団の団員確保、活動の充実 ■地域、ふるさとを守りつなぐ地域農業の振興 ■保育環境の充実、学園構想の推進、大学誘致



飯田市の将来を見据えた総合施策について ～中長期視点に立った施策と令和7年度予算編成～



会派代表質問 会派きぼう

清水 勇 議員

Q 物価高騰等の経済的影響に伴う予算編成の考え方は。

A 原油価格や物価の高騰の影響を受ける方々への支援は、市単独での継続は財政的に難しい。国が低所得者世帯の支援や中小企業の賃上げ環境整備等の方針を掲げており、国や県と連携して必要な施策を行っている。また、緊急防災・減災事業債は令和7年度までの時限措置とされているが、これまでも延長の要望を行っており、引き続き要望していく。

Q こども家庭庁が推進する「こどもまんなか社会」に応じた、こどもに優しいまちづくりの推進と考え方は。

A 子育て世代が孤立しないこと、相談できる場所があることが重要と考えており、市の担当課や保健師、地域の民生児童委員に相談できること等を各種媒体を用いて広報している。教育・保育施設との連携や気軽に相談できる体制づくり等、さまざまなニーズに即した支援策を検討し、周知を図ってまいりたい。また、こどもを真ん中に置いた地域づくりが大事であり、それが結果として地域の活性化につながっていくと考えている。



市長2期目の市政経営について ～市長の公約をチェックする～



会派代表質問 会派みらい

井坪 隆 議員

Q 健全な財政運営を維持するための寄つて立つ柱として「財政に関する条例」が必要ではないか。

A 「予算編成は総合計画に基づいて行う」と条例で定めることで、市長の恣意的な市政運営を制約できるが、一方で硬直的な市政運営を招きかねないとも言える。飯田市では、財政見通しを「ものさし」として、将来的な負担も見据えながら毎年の予算を組み立てていく手法を採用しており、条例制定の必要性はないと考えている。

Q 女性からも「生きる場」として選ばれる飯田市を、どのようにして創っていくと考えるか。

A 令和2年の国勢調査の分析では、進学等のために転出した後、飯田市に戻らない人の割合は、女性の方が多という結果が出ている。女性が自己実現できるまち、女性に選ばれるまちを創るためには、データに表れない実際の女性の声を聴くことが大切だと考えている。そのため、場を作り、その声を地域づくりにつなげていきたい。

■リニアの工期延長に伴う駅設置自治体としての対応について ■住民自治の将来について



いいだ未来デザイン 2028 後期計画に向けた市長の思いと 後期計画における戦略バスケットの考え方、思いは



会派代表質問 公明党

小林 真一 議員

Q 後期計画は骨格から肉付けまで市長の思いを反映させ組み立てたと考えるが、思いはどの程度込められたか。

A 後期計画、総合計画は市長の思いだけで作るものではなく、いいだ未来デザイン会議を設け、その議論を中心に後期計画を作ってきた。SDGsの考え方を中心に据え、かつ、それを飯田市版にローカライズしたいという私の思いを盛り込んで、市民会議で四つの視点をまとめていただいた。これらは飯田らしさを含んだ大事な視点であると捉えており、これを後期計画の視点として七つの基本目標を策定した。

Q 後期計画では戦略バスケットの考え方がより強まったと考えるが、組み立ての考え方、思いは。

A 戦略バスケット方式は、課題に對して様々な分野・立場の人が連携し、施策の組み合わせ・掛け合わせにより戦略的に取組を推進していくものであり、かつちりと固めた総合計画が多い中で、この考え方を採用しているのはいいだ未来デザインの特徴である。後期計画では、先に述べた四つの視点から七つの基本目標に再編したことで、この特徴がより強まったと考える。



「令和7年度予算編成の基本方針」の基本的な考え方より 「助け合いによる地域防災力の強化」について



会派代表質問 日本共産党

古川 仁 議員

Q 組合加入率が低下するなか、これまで以上に市民の理解・協力が必要になると考えるが、どう進めるか。

A 組合未加入者にも防災訓練や公民館事業等の地域の行事にできるだけ参加いただき、地域を知り、また地域の方々に知ってもらうことが重要と考える。特に災害時には、まちづくり組織や隣組合と顔の見える関係になっておくことが大切。地域の実情に応じて、組合加入を前提としたこれまでのものとは異なるつながりを作ることも検討していく必要があると考えている。

Q 緊急時に個人所有の井戸の使用が可能となるよう、市が中心となり鼎地区の取組を各地区に広げようか。

A 災害時の生活用水として井戸水の活用は有効である。鼎地区の自主防災組織では、地区内の個人所有の井戸を調査し、その結果をもとに所有者に協力を求めていくと聞いている。参考になる取組であり、他地区へ周知をしてまいりたい。なお、来年度から「自主防災組織施設整備補助金」において、停電時にも井戸水を汲み上げることができる手押し式ポンプの購入費も助成対象とする方向で検討を進めている。

財政の健全性を どのように担保していくか



原 和世 議員 (会派みらい)

A 後期計画の最終年度となる令和10年度末の基金残高及び地方債残高の目標値を定めているが、生産年齢人口の減少に伴う市税収入減や、物価高・人件費高など、目標の達成が困難となる要素がある。多額の投資的経費を要する事業も控えており、恒常的経費とともに長期的な見通しを持った財政運営が必要であり、今後4年間は非常に重要な期間であると考

Q 財政の長期見通しでは不安要素が見られるが、いいだ未来デザイン後期計画期間における財政の見通しは。

若者に選ばれる飯田市を どう描くか



宮脇 邦彦 議員 (公明党)

A コロナ禍でコミュニティの分断を経験した若者がつながり合い、やりたいことが実現できた経験は、ゆるやかなつながりや、つながりの再生がどういう形でできるかという大きなヒントになる実例と受け止めている。市としても、このような経験を持つ若者が地域の活力になると期待しており、これに続く事例が生まれるよう若者の自己実現を応援してまいりたい。

Q 若者世代のつながりづくりへ「スケートボードパークーDA」の取組をヒントにできないか。

民間保育所等の給食に係る 副食費補助の継続は

木下 徳 康 議員 (新政いいだ)



A 令和7年度において副食費補助事業が継続できるかは、現状では不透明である。ただし、副食費に限らず、俯瞰的に子育て世代の経済的支援について検討してまいらる。複数年度にわたる副食費の物価高騰対策を計画するためには、財源の確保が重要である。国の臨時交付金などの動向を注視して、検討していく。

■飯田市職員が楽しく働くには

ひきこもりと不登校に対する 重層的支援について

関島 百合 議員 (会派みらい)



Q 不登校に悩む家庭が、飯田市の重層的支援体制を知らなかった。庁内の横のつながりはできているのか。

A 周囲から見て心配な状態であつても、支援を望まない家庭に情報を届けることは難しい。支援を求める声を上げられずにいる人もいるかもしれないが、支援を望む家庭には必要な情報が届いていると考えている。「福祉まるごと相談窓口」では、寄り添い、課題と一緒に考え、関係機関等につないでいる。また、地域に出向く出張相談も実施している。

若者が戻ってこないという 構造的課題の解決は

長谷部 春生 議員 (会派きぼう)



A 信州大学の新学部設置は見送られてしまったものの、これまでの取組が同大学の研究拠点の設置につながった。研究講座の設置等の取組を拡大していくことで、将来的に南信州に学部・キャンパスが設置されることを期待している。また、有力な情報があれば、信州大学に限らず四年制大学の誘致に向け、あらゆる可能性を探っていく。そのために市に関わる大学や県との連携を強化してまいりたい。

高齢期の特性に配慮した 防犯対策の考えについて

市瀬 芳明 議員 (日本共産党)



Q 介護保険の住宅改修や特定福祉用具購入時の支払方法は、受領委任払いが安全と考えるが、導入の考えは。

A 保険給付対象部分を市が事業者に直接支払う受領委任払いの導入は平成18年度頃に検討を開始し、現在は生活保護受給者と中国残留邦人に限って採用している。個人と業者間の高額な現金の授受がなくなるため、消費者被害のリスクと利用者の負担の軽減が期待できるが、業者等への事務上の影響もある。課題の整理と業者への意向確認をして検討していく。

Q 四年制大学の誘致について、市長の現在の決意と今後の取組は。

「議会報告・意見交換会」で多くの ご意見・要望をいただきました

各地区まちづくり委員会の皆様のご理解と協力により、令和6年度の議会報告・意見交換会を開催することができました。誠にありがとうございました。

10月3日(木)から11日(金)までの間に、市内8会場で開催した議会報告・意見交換会には、545人の皆様にご参加いただき、1,388件のご意見・要望をいただくことができました。

皆様からいただいた貴重なご意見等は、左表のとおり分類し、「調査・研究(問題分析)」を行うものとした項目については、各常任委員会が調査研究を進め、委員会の所管事務調査報告書にも反映させていただきます。

実施後のアンケート結果からは、参加いただいた皆様の約87%以上の方から、開催したことに対し、評価をいただきました。

来年度も有意義な会となるように工夫をしましてまいります。

1,388件の意見・要望等の分類

委員会として調査・研究(問題分析)を行うもの	1,240件
予算審議等を通して扱うもの	0件
早急に回答を要するもの	18件
年度内に回答を行うもの	41件
市へ伝えておくべきもの	15件
その他(市議会として聞き置くこととするもの)	74件

飯田市議会スローガン 「くらし豊かな いいだの未来(あす)を 市民とともに」
～市民のしあわせに貢献する議会～

議員紹介

議員自らが紹介します



議席番号 19
住所地 松尾
所属委員会 総務
会派 会派きぼう

父の背中と将来の夢

は せ べ はる き
長谷部 春生

長男が保育園の誕生日会で将来の夢について「消防士さん」と答えたそうです。理由は「お父さんが消防団をやっているから」とのこと（常備消防と消防団の違いはまだわからないよう）。

消防団の活動で家を空けることも度々あり、妻をはじめ家族の協力には感謝しかありません。その上で、長男がそんな父の姿・背中を見て、興味を持ってくれたことについて大変嬉しく、希望を感じました。

これからの消防団をはじめ様々な活動についても、まず自分が楽しく活動できる環境や状況を作り、楽しそうに頑張っている姿を、支えてくれる人に見てもらおうことが長く続けていく秘訣なのかもしれません。

飯田市スポーツ振興議員連盟 管内視察を実施

11月11日(月)に「飯田市教育委員会施設等総合管理計画」に基づき施設改修をした体育施設3カ所を視察しました。生涯学習・スポーツ課から、飯田市総合運動場は陸上競技場第2種公認更新のための改修工事と夜間照明設備の設置、飯田市上郷体育館は照明器具のLED化、山田体育館は照明器具のLED化、屋根外壁工事、トイレ改修などについて説明を受け、状況の確認を行いました。市民の皆さんのスポーツ施設ですが、老朽化により改修が必要な施設が多くあります。優先順位をつけ要望を提案してまいります。



飯田市総合運動場
(松尾明)で説明を受ける

議会の動き(予定)

■令和7年第1回定例会
2月27日(木)～3月21日(金)

◇一般質問(傍聴可能)

3月4日(火)、5日(水)

◇委員会日程(傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	3月 6日(木)
総務委員会	3月10日(月)・11日(火)
社会文教委員会	3月11日(火)・12日(水)
産業建設委員会	3月12日(水)・13日(木)
リニア推進特別委員会	3月 14日(金)
予算決算委員会後期全体会	3月 19日(水)

■議会への請願・陳情は、議会事務局へ
2月13日(木)午後5時までに提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻の着用、及びつえ、傘の類の携帯はご遠慮ください。(病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長/岡田 倫 英	副委員長/山崎 昌 伸
委員/小平 彰	橋爪 重人 西森 六三
宮脇 邦彦	関島 百合 市瀬 芳明

表紙紹介

がんばっとるに!! 橋北

橋北イルミネーションフェスタ ファイナル

飯田の冬の風物詩の一つ「橋北イルミネーションフェスタ」も今年で第16回を迎えました。主催:橋北まちづくり委員会、企画運営:橋北面白倶楽部の体制で平成21年に初開催して以来、毎年追加・改良・その年の話題などを盛り込みながら開催してまいりましたが、残念ながら今回を最後に休止することとなりました。一月半程かかる準備の大変さから止めたい気持ち半分、「今年も綺麗だったに!!」「また来年も楽しみにしとるな!!」に励まされここまで取り組んで来ることが出来ました。「これで最後」「人手が足りない」と聞きつけて、地元の中高生のボランティアも加わってくれた今年は、また一味違った出来映えでした。「いつの日かまた違った形で…」そう願いつつ、LEDライトを置かせていただき、ふつうの「じいちゃ、おね～さん」に戻ります。

ありがとう旧飯田測候所!!



始めた頃のメンバー(平成24年頃の写真)
…この頃も学生が協力してくれていました。